

「エラー」と「ミス」のなかで 葛藤する日々

日本病院薬剤師会理事
福井県病院薬剤師会会長
福井大学医学部教授 附属病院薬剤部長
後藤 伸之 Nobuyuki GOTO



今年のプロ野球を振り返ってみると、阪神タイガースが18年ぶりのリーグ「優勝」、さらに1985年以来の2度目の日本一に輝いた。阪神・岡田彰布監督は目標を「優勝」と表現する代わりに「アレ」と言い続けた。いつも中日ドラゴンズと最下位争いをしている同士の阪神タイガースが「アレ」を達成できたので、きっと我が中日ドラゴンズも「アレ」ができる日は遠くないと勇気づけられた。

さて、野球観戦中、テレビから「九回裏、ツーアウト満塁、阪神タイガース、一打出れば逆転のチャンス。あっ、内野ゴロ、ショートが「エラー（捕球の失敗）」、ショートの「ミス」、逆転！阪神ファンからは、ブーイングと落胆の声が球場中に響いている。」との中継が耳に入ってきた。野球でよく使われる「エラー」と「ミス」という言葉。医療現場でも汎用され、あたかも同義語のように使われることが多く、意味の違いについてクリニカルケースションが生まれ、ひも解くためにググってみた。

英語では「エラー」はerrorで、「ミス」はmistakeを省略した和製英語だそう。諸説あるようで、私が最もしっくり理解できたのは学校の定期テスト時の誤答で考える例であった。

(引用・要約：<http://mathrao.com/how-to-make-less-careless-mistakes/>)

エラーとミス、意味はどちらも「間違い」なんだけど種類が違う。

エラー：その瞬間の過失（不注意）がない間違い。ミス：その瞬間の過失（不注意）がある間違い。試験における「誤答」は、「エラー」+「ミス」+「不勉強」に分けられる。

「エラー」は、例えば試験の時「write を witeと書いてしまう」というような確率1%以下で起こる間違いのこと。言い換えるなら、本来ならできることなのに予期せず間違えること。これは脳のエラーとも考えられるので“0”にすることはできない。

一方、「ミス」は、試験の時の見間違い、思い込み、勘違い、転記ミス、マークミスのような不注意によって起こる間違いのこと。エラーを見つけて修正できなかったというミス（ケアレスミス）も含まれる。ミスの原因には不注意のほか、字が小さい・汚い、問題の仮定と結論を確認していない、国語力が低い等がある。ミスは対策をルール化して練習を重ねれば“0”にできる。

不勉強は、エラーとミス以外はすべて不勉強。これには能力不足も含まれる。原因は未習得、読解力が低い、試行錯誤不足等。要は単なる勉強不足。

医療現場における事故・過誤に当てはめても、腹にすんと落ちる考え方だと思った。

最後に、「エラー」と「ミス」のなかで葛藤する日々のなかで私ができないことを考えてみた。阪神・岡田監督は、「優勝」という言葉から生まれるプレッシャーから選手達を解放するために「いらんこと言うたらアカン」ということで「アレ」という言葉を使い続け、目標を手中に収めることができた。私も「調剤過誤」という言葉からくるプレッシャーを薬剤部スタッフから解放するためにこの言葉は使わず、毎日、朝礼にてスタッフ全員に向けて“アレ”を失くすために医療安全に関する標語を唱和しましょう”と声掛けしようかな！と思うこの頃。会員の皆様方とも一緒に唱和しましょう。安全な医療を提供するために「根づかせよう安全文化 みんなの努力と活かすシステム」。